



【株主のみなさまへ】

第60期 報告書

2014.4.1~2015.3.31

山一電機株式会社

グループ経営理念

お客様の価値創出に

貢献します。

山一電機グループは、 人・企業・社会・地球との より良い結びつきを 柔軟な技術力と発想力をもって 意欲的に創造する 「もっとしなやかに ベターコネクション」を コーポレートスローガンに、

1. 人の尊重

人を育て、人を活かし、会 社の発展と個人の幸せの 共有を目指します。 2. 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステー クホルダーの要請に応え、 適正利潤を追求し、企業価 値の最大化を目指します。

3. 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である 優れた製品品質と企業品 質を提供することによっ て、顧客の満足を図ります。 4. 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を 提供します。 5. 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、 社会から信頼される企業 であり続けます。

セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (平成27年3月期)

4.8%

光関連事業



RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、 ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源 売上高 45.0% 254億円

テストソリューション事業



検査用ICソケット、プローブカード、 FPC検査用ソケット、半導体テストサービス

コネクタソリューション事業

コネクタ、実装用ICソケット、 フレキシブルプリント配線基板(YFLEX™) 株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平成26年度(第60期・平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 太田 佳孝



当連結会計年度における電子部品業界は、スマートフォン等のモバイル関連機器を中心に引き続き好調に推移し、ネットワーク関連機器や自動車関連機器も堅調に推移いたしました。しかしながら、薄型テレビやノートパソコンなどデジタル家電等は総じて低調な推移となりました。

このような経営環境の中で当社グループは、グループ会社 全体での連携を強化し、業務の効率化を図り、固定費を削減 するなどの事業構造改革に取り組んでまいりました。特に事 業構造改革の一環として、グローバルでの地域・市場・顧客・ 製品別に成長戦略の実現に取り組み、持続的成長と収益力向 上に向けた活動を進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、テストソリューション事業とコネクタソリューション事業の大幅な増収により25,465百万円(前年同期比16.9%増)となりました。利益面でも、営業利益は増収効果や構造改革による収益構造の

改善により2,370百万円(前年同期比193.7%増)、経常利益は為替差益254百万円の計上等により2,531百万円(前年同期比95.9%増)、当期純利益は2,559百万円(前年同期比163.9%増)となりました。

次期の見通しにつきましては、中期経営計画の中核となる "構造改革"、"収益力強化"、"成長戦略"を柱とする「事業構造改革」に引き続き取り組み、グループ会社全体での連携を強化し、固定費を削減し、業務の効率化を図り、持続的成長と収益力の向上を図ってまいります。特に"成長戦略"をさらに加速させるため、各事業別にグローバルでの地域・市場・顧客・製品別の重点施策を練り上げ、実行し、利益の最大化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援 とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

成長戦略

経営方針

グループ連携の強化

グループ会社の効率化を追 求する

構造 改革

シンプルな事業運営

組織運営を最小限にし、経 営資源を機動的に投入する

販管費の圧縮

グローバルに業務の改善を 推進する

グローバルニッチ

戦略を策定・実行し、持続的 成長と収益力の向上を図る

収益力強化

現場力に磨きをかけ、無駄 コストを圧倒的に減ずる

海外機能アップ

開発、QCD管理、サプライ チェーン管理を海外移転する

テストソリューション事業

お客様に満足いただける製 品提供を拡大する

コネクタソリューション事業

差別化製品の販売とグループ販売戦略を強化する

光関連事業

新製品開発で差別化を図る

テストソリューション事業

ユニバーサルソケットを開発



モバイル機器の高機能、小型および軽量化、自動車の 先進運転支援システム化など、より半導体の多品種 化が進んでいます。半導体検査用ソケットにおいては、 様々なピッチおよび外形に対応することがお客様より 求められております。当社では、蓄積した技術力を活か し、最小限の部品変更で実現出来るパッケージのバリ エーションに対応したユニバーサルソケットを開発いた しました。今後も、お客様のニーズにお応えする、最適 なテストソリューションを提供してまいります。

テストソリューション事業



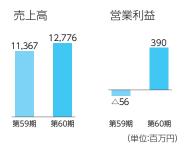
コネクタソリューション事業

長尺で高屈曲フレキシブルプリント 配線板を開発



従来のフレキシブルプリント配線板に対し、当社では、長尺で高屈曲性に優れたフレキシブルプリント配線板を開発いたしました。アミューズメント機器用途では多方向へ動作する液晶パネルと接続し高速伝送を実現、自動車関連機器用途では車内配線に多く使用されているワイヤーハーネスからの置き換えによる車両軽量化、産業機器用途では産業用ロボットの可動部など、使用用途に合わせた様々なニーズにお応えいたします。

コネクタソリューション事業



光関連事業

デジタルレーザプロジェクタ用低損失フィルタ、 レーザミラーの量産を開始



デジタルレーザプロジェクタ用低損失フィルタ ・高反射ミラー ハイビジョンから4K、8Kへの高画質化が進むデジタル映像機器の分野では、高出力のレーザ光源の採用が加速しています。当社では、世界でも最上級の耐久性を持つレーザミラー製造技術を応用し、デジタルレーザプロジェクタ用の低損失フィルタおよび高反射ミラーを開発、プロジェクタメーカへ量産を開始いたしました。この製品は、映像の基礎である色の三原色(青、赤、緑)を作り出す光学エンジンのキーコンポーネントとなっております。

光関連事業



■連結貸借対照表

【資産の部】 (単位:百万円)

科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)
流動資産	14,029	12,261
現金及び預金	4,727	4,890
受取手形及び売掛金	5,294	3,943
たな卸資産	2,982	2,800
その他	1,025	626
固定資産	13,073	11,317
有形固定資産	9,627	9,103
無形固定資産	117	77
投資その他の資産	3,328	2,136
繰延資産	3	4
資産合計	27,107	23,582

【**負債、純資産の部**】 (単位:百万円)

科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)
流動負債	8,596	8,612
支払手形及び買掛金	1,584	1,521
短期借入金	4,414	4,898
その他	2,597	2,192
固定負債	1,725	1,488
社債	127	162
長期借入金	633	428
その他	964	897
負債合計	10,321	10,100
株主資本	16,926	14,084
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	1,586	1,586
利益剰余金	5,296	2,454
自己株式	△ 3	△ 3
その他の包括利益累計額	△ 160	△ 617
新株予約権	3	_
少数株主持分	16	15
純資産合計	16,785	13,482
負債純資産合計	27,107	23,582

■連結損益計算書

(単位:百万円)

	,	半位・日ノノロノ
科目	当期 (自平成26年4月1日) 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日) 至平成26年3月31日)
売上高	25,465	21,778
売上原価	17,066	15,417
売上総利益	8,398	6,361
販売費及び一般管理費	6,028	5,554
営業利益	2,370	806
営業外収益	415	780
営業外費用	253	294
経常利益	2,531	1,292
特別利益	12	38
特別損失	35	164
税金等調整前当期純利益	2,509	1,167
法人税、住民税及び事業税	394	238
法人税等調整額	△ 445	△ 41
少数株主利益	0	0
当期純利益	2,559	970

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	'	半位・日月日
科目	当期 (自平成26年4月1日) 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日) 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,420	2,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,628	△ 698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,288	△ 1,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	243	116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 253	1,075
現金及び現金同等物の期首残高	4,871	3,795
現金及び現金同等物の期末残高	4,617	4,871

■貸借対照表

【資産の部】 (単位:百万円)

科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)
流動資産	10,076	9,934
現金及び預金	2,400	2,913
受取手形及び売掛金	3,730	3,249
たな卸資産	650	668
その他	3,294	3,103
固定資産	12,474	11,179
有形固定資産	6,628	6,382
無形固定資産	69	48
投資その他の資産	5,777	4,748
資産合計	22,551	21,114

【**負債、純資産の部**】 (単位:百万円)

科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)
流動負債	6,959	7,269
支払手形及び買掛金	1,226	1,139
短期借入金	4,224	4,908
その他	1,508	1,222
固定負債	1,141	1,084
長期借入金	473	408
その他	667	675
負債合計	8,100	8,354
株主資本	13,751	12,346
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	1,586	1,586
利益剰余金	2,121	716
自己株式	△ 3	△ 3
評価・換算差額等	695	413
新株予約権	3	_
純資産合計	14,450	12,760
負債純資産合計	22,551	21,114

■損益計算書

(単位:百万円)

		里位:白万円)
科目	当期 (自平成26年4月1日) 至平成27年3月31日)	前期 (自平成25年4月1日) 至平成26年3月31日)
売上高	13,809	12,416
売上原価	10,780	9,854
売上総利益	3,029	2,561
販売費及び一般管理費	2,131	2,005
営業利益	897	556
営業外収益	690	1,016
営業外費用	610	214
経常利益	976	1,358
特別利益	5	24
特別損失	6	580
税引前当期純利益	975	802
法人税、住民税及び事業税	123	67
法人税等調整額	△ 270	17
当期純利益	1,122	716

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商 号 山一電機株式会社

所 在 地 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号

設 立 昭和31年11月

資 本 金 100億4,706万円

従業員数 342名 (連結 2,059名)

主な事業内容 1. テストソリューション事業

2. コネクタソリューション事業

3. 光関連事業

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

① 発行可能株式総数

60,000,000株

② 発行済株式総数

23,289,775株

③ 株主数

5,614名

④ 単元株式数

100株

⑤ 大株主

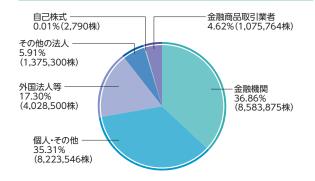
株 主 名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,533,600	15.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,158,600	4.98
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	667,300	2.87
株式会社三井住友銀行	619,300	2.66
山一電機取引先持株会	609,500	2.62
山一電機従業員持株会	500,788	2.15
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	495,800	2.13
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	490,361	2.11
日本生命保険相互会社	421,075	1.81
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	406,400	1.75

(注) 持株比率は自己株式2.790株を控除して計算しております。

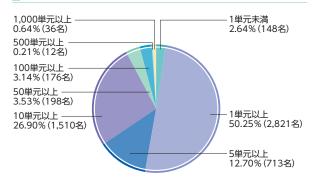
~ 役員 (平成27年6月24日現在)

代表取締役社長 太 田 佳 孝 伸 常勤監査役 近 岡 役 加 藤 勝 社外監査役 吉 澤 壽美雄 取 市 役 土 屋 武 社外監査役 多 田 郁 夫 取 取 役亀 谷 淳 渡 部 武 光 取 役 社外取締役 美 憲 章 社外取締役 村 田 朋

所有者別株式数分布状況 (平成27年3月31日現在)



所有株数別株主数分布状況(平成27年3月31日現在)



事 業 年 度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金受領株主確 定 日	3月31日
中間配当金受領株主確 定 日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別□座の□座管理機関 ====================================	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 怔 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部:証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつ きましては、原則、□座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承るこ ととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本 支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたし ます。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、 アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、 アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に 表示されるアンケートサイトにてご回答ください。 所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com アクセスコード 6941

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。 (タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に

到着してから約2ヶ月間です。 ご回答いただいた方の中から 抽選で薄謝(図書カード500円) を進呈させていただきます

44-F.

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する 「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細http://www.a2media.co.jp) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこ れ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」

MAIL:info@e-kabunushi.com

IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開していま す。今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示 を行っていく所存です。

Web上で ご覧いただける 投資家情報

- IRカレンダー
- 有価証券報告書
- 決算短信
- お問い合わせ
- 株主のみなさまへ

http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx

・当社は、昭和31年11月1日に設立しましたので、当期 (第60期) は設立58周年になります。

-雷機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号 テクノポート三井生命ビル 圓03-3734-0171 (代表) 圆03-3734-0120 ホームページアドレス http://www.yamaichi.co.jp

